

NISE 免許法認定通信教育

学習ガイド

令和2年度前期

本学習ガイド（抜粋版）について

本学習ガイドは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）が令和2年4月に開講する免許法認定通信教育について、受講の仕方、注意点等をまとめたガイドブックです。免許法認定通信教育の実施概要、受講申込に必要な情報、学習の進め方、シラバスなど、NISE 免許法認定通信教育を受講するにあたって必要な情報を示していますので、ご活用ください。



【 NISE 免許法認定通信教育学習ガイド】

本学習ガイドについて 1

目次

I 令和2年度前期 NISE 免許法認定通信教育の概要

1. 実施スケジュール
2. 免許法認定通信教育受講のプロセス
3. 開講科目
4. 特別支援学校教員免許状取得の流れ

II 受講に関するご案内

1. 受講申し込み
2. 映像講義について
3. 成績審査・単位認定について

III 免許法認定通信教育総合情報サイト

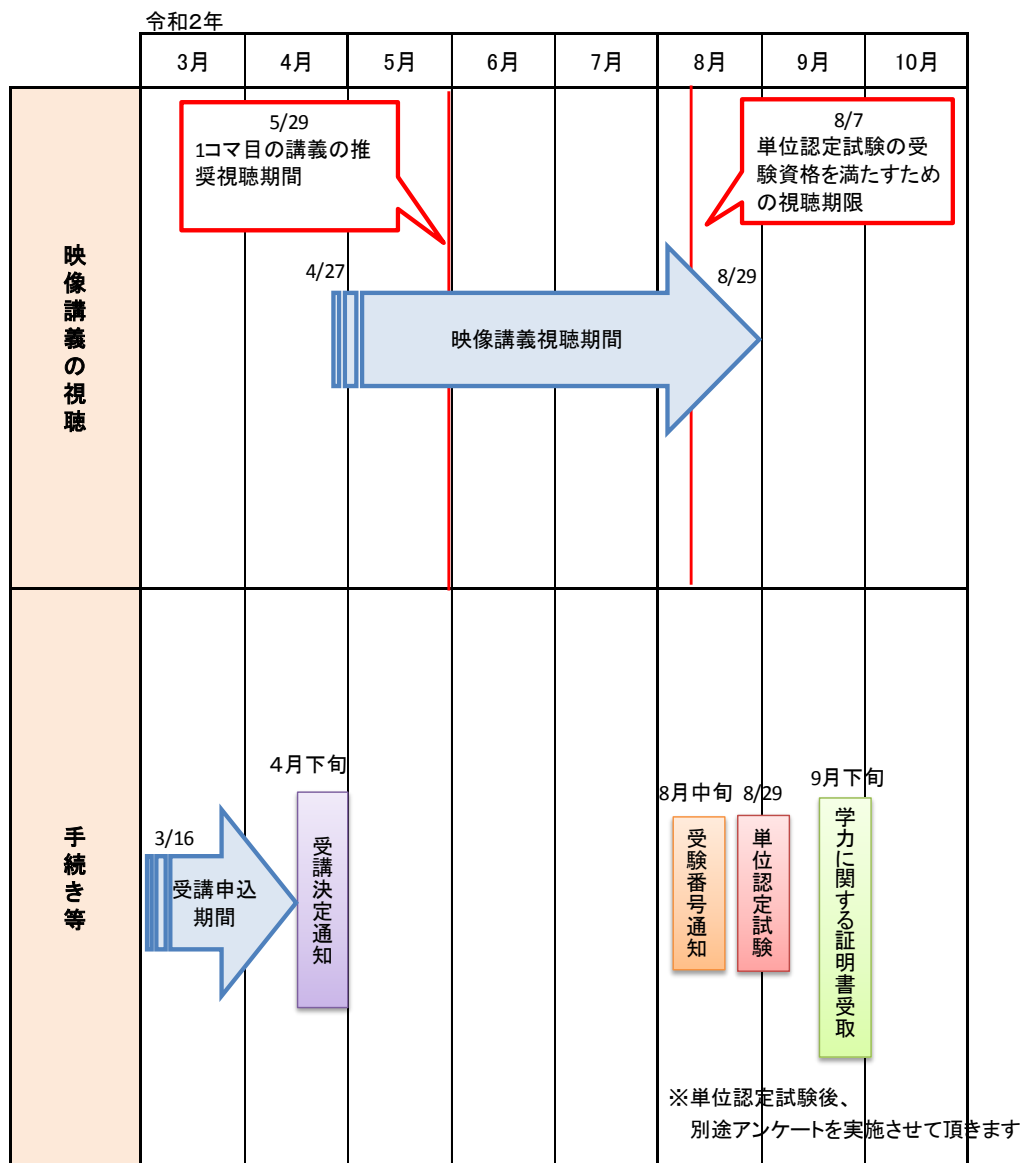
問い合わせ先

I 2020年度（令和2年度）前期 NISE 免許法認定通信教育の概要

1. 実施スケジュール

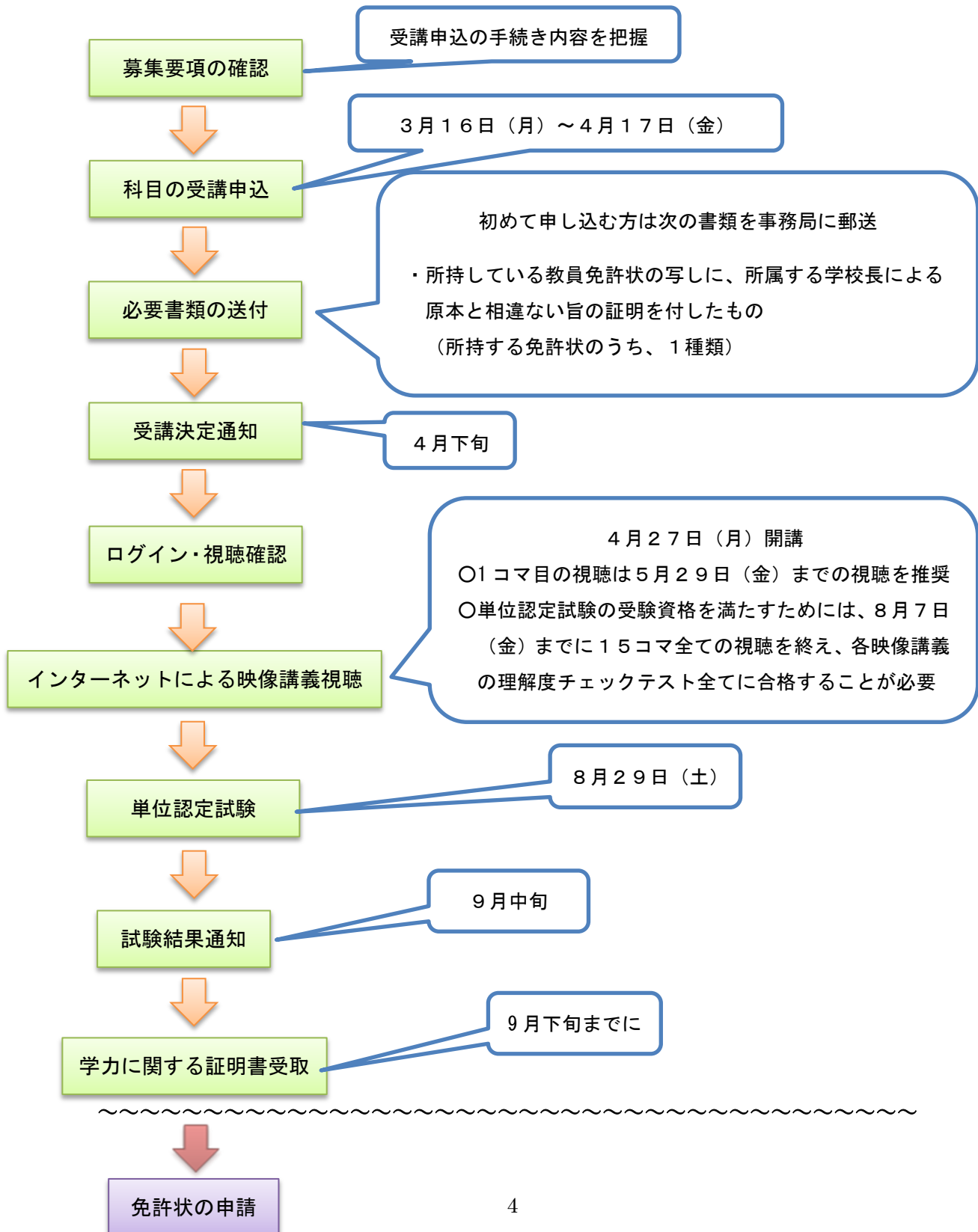
令和2年度前期の NISE 免許法認定通信教育の受講申込期間は3月16日（月）～4月17日（金）で、映像講義の開講は4月27日（月）、単位認定試験は8月29日（土）です。

令和2年度前期実施予定表



2. 免許法認定通信教育受講のプロセス

NISE 免許法認定通信教育の映像講義は、インターネットによって配信されます。受講から単位認定までの流れは以下のとおりです。



3. 開講科目

(1) 令和2年度前期開講科目について

令和2年度前期の開講科目は、「視覚障害児の心理、生理及び病理」（第2欄(特別支援教育領域に関する科目)）及び「聴覚障害児の心理、生理及び病理」（第2欄(特別支援教育領域に関する科目)）の2科目（各1単位）です。具体的な映像講義の構成は以下のとおりです。

番号	映像講義名称<視覚障害児の心理、生理及び病理>（視覚障害教育領域）
①	視知覚
②	聴知覚・障害物知覚
③	触知覚
④	知能・記憶・思考
⑤	ことばと読みの発達
⑥	身体発達と歩行
⑦	パーソナリティと適応・社会性
⑧	視覚器の解剖と発生
⑨	視機能とその評価1（視力）
⑩	視機能とその評価2（視野・眼球運動・その他）
⑪	眼光学と視覚補助具
⑫	先天異常
⑬	小児の眼疾患
⑭	屈折異常・白内障・緑内障
⑮	網膜・硝子体疾患と視神経・視路疾患

番号	映像講義名称<聴覚障害児の心理、生理及び病理>（聴覚障害教育領域）
①	聴覚障害児の生涯発達と教育・心理的背景
②	聴覚障害（乳）幼児の心理と発達支援
③	聴覚障害（学童期・青年期）の心理と教育的対応
④	聴覚障害児の社会性と情緒の発達
⑤	聴覚障害と認知発達
⑥	軽度・中等度難聴児及び一側性難聴の理解と対応
⑦	聴覚リハビリテーション①補聴器
⑧	聴覚リハビリテーション②人工内耳・人工中耳
⑨	APD 聴覚処理障害の理解と対応
⑩	小児の言語障害
⑪	聴覚障害の病理①－耳科学疾病－
⑫	聴覚障害の病理②－耳科学疾病－
⑬	聴覚の解剖（聴覚機能）
⑭	小児難聴（種類と原因）
⑮	小児難聴の早期発見（現状と課題）

(2) 令和2年度後期の開講科目について

令和2年度後期は以下の科目について開講する予定です。ただし、教育施策の動向や教育現場のニーズ等により変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

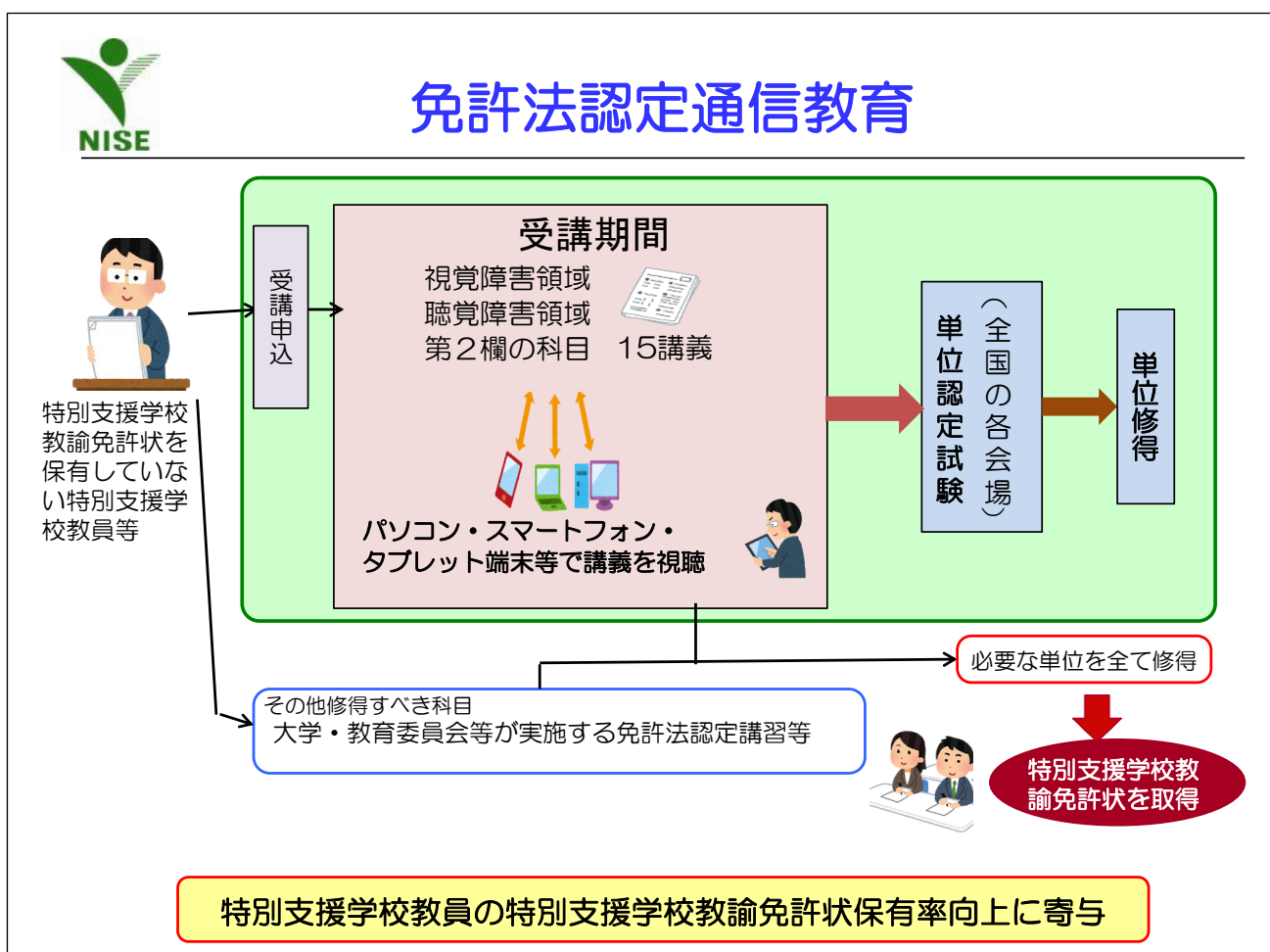
開講期間		開講科目	
		視覚障害教育領域	聴覚障害教育領域
令和2年度	前期	心理、生理及び病理に関する科目	心理、生理及び病理に関する科目
	後期	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目

※後期は9月開講予定

4. 特別支援学校教員免許状取得の流れ

NISE 免許法認定通信教育により、特別支援学校教諭の一種又は二種免許状の取得に必要な単位の一部を修得することができます。

ただし、教員免許状は、都道府県の教育委員会が授与するものであり、各都道府県の教育委員会規則で取得に必要な単位を定めるため、本研究所の通信教育で修得できる単位で取得しようとする免許状の必要単位が満たされるか否か、また、申請に必要な条件や書類について、あらかじめ所轄の都道府県教育委員会に確認してください。



Ⅱ 受講に関するご案内

1. 受講申し込み

(1) 受講申し込みの方法※申込の際には「受講募集要項」をご一読ください。

本研究所の「免許法認定通信教育総合情報サイト」に設けた受講申込フォームに氏名・メールアドレス等の必要事項を入力の上、データ送信してください。

データ送信後、申込受付期間内に、次の書類を下記の問合せ先宛に郵送してください。

また、本研究所の通信教育を受講したことのある方については、書類の提出は不要です。

提出期限は4月17（金）必着です。

○所持している教員免許状の写しに、所属する学校長による原本と相違ない旨の証明を付したもの

入力内容及び提出書類を確認した後、申込手續完了メールをお送りします。

注)「申込手續完了メール」は、受講の決定をお知らせするものではありません。決定につきましては、次の「受講決定通知」にてお知らせします。

(2) 受講決定通知

申込受付期間終了後に受講者を決定し、受講決定通知メールをお送りします。その後、「独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インターネット講義配信システム」の個人アカウント情報（ログイン ID 及びパスワード）をお知らせいたしますので、受領されましたら、ログインできるかどうか、ご確認ください。問題が生じた場合は、下記の間合せ先までお問い合わせください。

(3) 単位認定試験の受験のみを希望する場合

令和元年度に開講した視覚障害教育領域「視覚障害児の心理、生理及び病理」及び聴覚障害教育領域「聴覚障害児の心理、生理及び病理」について、単位認定試験の受験要件を満たしているにもかかわらず、当日受験できなかった方は、次回開講の同一科目に限り、再度の映像講義視聴等を行わなくても、単位認定試験を受験することができます。詳細につきましては、下記の間合せ先までご連絡ください。

(4) 受講及び単位認定試験に際して配慮を希望する場合

病気・負傷や障害等のために受講及び単位認定試験の受験上の配慮を希望される場合は、個別に対応いたします。詳細につきましては、下記の間合せ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

国立特別支援教育総合研究所 免許法認定通信教育オフィス

メール：v-tsushin@nise.go.jp

2. 映像講義について

NISE 免許法認定通信教育では、パソコンやスマートフォンから「独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インターネット講義配信システム」(<https://lms.nise.go.jp/>)にアクセスし、映像講義を視聴します。受講決定後お知らせしたログイン ID とパスワードを入力して、システムにログインします。(ストリーミング配信のため、動画ファイルはダウンロードされません。)

(1) 映像講義の構成

NISE 免許法認定通信教育では、1 科目につき 15 コマ分の映像講義が用意されています。1 コマ分の映像講義の長さは約 60 分です。15 コマの映像講義を数字の順番に視聴していただきます。

1 つの映像講義中、講義内容の区切り等で数か所の「インターバル」が入ります。「インターバル」では動画が一時的に停止しますが、指定されたボタンをクリックすることで、次に進むことができます。

各映像講義の視聴後に、内容に関する理解度チェックテストを行います。理解度チェックテストは、各映像講義に 5 問程度用意されています。回答形式は択一式または、複数選択式です。合格点に満たない場合は、理解度チェックテストの画面が再度表示されます。印刷教材を読んで学習内容を着実に身に付けたうえで、再度テストを受けてください。理解度チェックテストに合格し、解説(振り返り)動画を最後まで視聴すると、その映像講義は「視聴済」となり、「未視聴」等のアイコンが消えます。

(2) 印刷教材の活用

印刷教材は、映像講義のテキストとなる教材で、講義ごとに用意されています。基本的には映像講義のスライド情報をそのまま印刷教材として示していますが、市販されている書籍等をテキストとして利用することもあります。印刷教材が映像講義のスライド情報の場合は、各映像講義の項目から PDF データをダウンロードできるようになっていますので、各自印刷して活用してください。なお、本研究所からの印刷教材の発送には、対応いたしかねますので、ご了承ください。

(3) 事前・事後学習

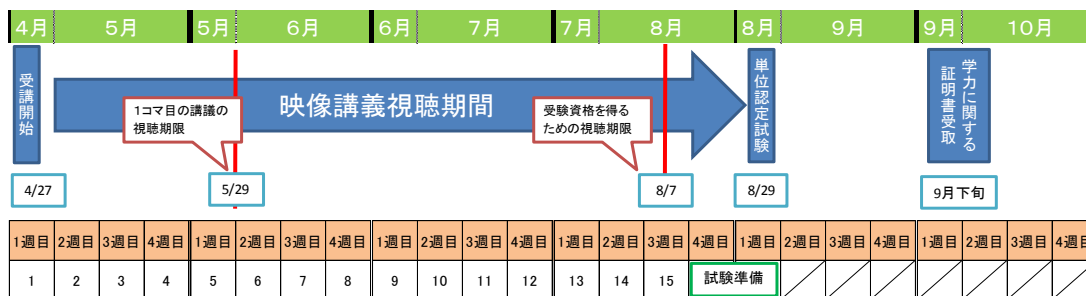
映像講義ごとの事前・事後学習については、受講者に配布するシラバスで言及しています。内容を確認のうえ、学習を深めてください。

また、各映像講義の共通の事前学習教材として、「特別支援教育の基礎・基本 新訂版」(国立特別支援教育総合研究所著作、出版日:2015年1月、出版社:ジアース教育新社)を推奨しています。

なお、2020年5月下旬に、改訂版「特別支援教育の基礎基本2020—新学習指導要領対応」が出版予定です。

(4) 計画的な学習の進め方

1科目の映像講義は15コマです。令和2年4月27日(月)～令和2年8月7日(金)の期間に1週間1コマの視聴計画となるよう作成されています。視聴期間の開始時に受講者がシステムにアクセスできる環境にあるかオフィスが確認し、必要な対策を講じます。そのため、1コマ目の講義はできるだけ5月29日(金)までに視聴してください。その後は、15コマの映像講義を数字の順番に視聴してください。各自計画的に学習を進めてください。



〈学習の進め方の例〉

- ・毎週1つの映像講義を視聴して、その前後で事前・事後学習を行う。
- ・週末等を利用するなど、一定期間に集中して視聴し、事前・事後学習も集中して行う。

なお、映像講義の視聴を薦めていく中で生じた疑問等を解消するため、担当講師への質問をメールフォームで受け付けています。

3. 成績審査・単位認定について

科目の受講を完了し、単位認定試験の受講資格を得た方は、8月29日(土)に実施する単位認定試験を受験することができます。

(1) 単位認定試験の受験資格及び単位認定の要件について

① 単位認定試験の受験資格について

令和2年度前期の単位認定試験は令和2年8月29日(土)に実施します。単位認定試験の受験資格を得るためには、以下を視聴期限の令和2年8月7日(金)までに行ってください。

- 科目の全映像講義(15講義分)の視聴を最後まで終えること。
- 各映像講義の理解度チェックテスト全てにおいて合格点(6割)を取得すること。

②単位認定の要件について

単位認定の要件は、単位認定試験において合格点（6割）を取得することです。

（2）単位認定試験の会場について

単位認定試験は、勤務地がある都道府県の試験会場で受験します。ただし、その都道府県の受講者が少ない場合は、宮城県、東京都、大阪府又は福岡県の試験会場で受験する場合があります。単位認定試験の試験会場（都道府県）については、8月中旬にお知らせします。

※現在、新型コロナウイルスへの対応として、試験会場の設け方について検討中です。決めた会場については個別にご案内をさしあげます。

（3）試験結果について

試験結果については、9月中旬にメールにてお知らせいたします。
また、合格された方には「学力に関する証明書」を9月下旬に郵送します。

（4）試験解答の公表及び疑義について

単位認定試験の解答は、試験実施翌日から1週間後まで、免許法認定通信教育総合情報サイト上で公開いたします。この間、試験問題の疑義についても受け付けます。

（5）開示請求について

各受験者の試験の結果について、開示請求があった場合、受験者本人に対してのみ開示いたします。手続きについては、別途定めます。

（6）出題ミスの対応について

万が一、単位認定試験の出題に誤りがあった場合は、誤りの内容及び採点の際の対応等について、免許法認定通信教育総合情報サイト上に掲載いたしますので、ご確認ください。

（7）再試験

いかなる理由においても、単位認定試験の再試験は認めません。ただし、単位認定試験の受験要件を満たしているにもかかわらず、当日受験できなかった方については、令和3年3月に単位認定試験のみの受験ができます。

Ⅲ 免許法認定通信教育総合情報サイト

免許法認定通信教育総合情報サイトとは、NISE 免許法認定通信教育に関連する情報の案内を行うことを目的とした総合窓口となるウェブページです。本サイトに掲載される情報は以下のとおりです。

☆**受講者の方**

- ①お知らせ
- ②免許法認定通信教育の概要
- ③受講に関するご案内
 - ・システムへのアクセス
 - ・映像講義について
 - ・学習の進め方
 - ・成績審査・単位認定について
 - ・NISE のリソースについて
- ④シラバス
- ⑤関連リンク集
- ⑥FAQ：よくある質問
- ⑦学習ガイド（PDF）
- ⑧問い合わせ先

★**受講を希望される方**

- ①お知らせ
- ②免許法認定通信教育の概要
- ③受講募集要項
- ④テスト視聴のご案内
- ⑤FAQ
- ⑥テスト視聴
- ⑦学習ガイド（抜粋版）
- ⑧受講申込フォーム
- ⑨問い合わせ先

問い合わせ先

国立特別支援教育総合研究所 免許法認定通信教育オフィス

Mail:v-tsushin@nise.go.jp